

# マリンバの素晴らしさを九州に広める。 それが私の夢であり、使命です。



(写真上) 安倍氏と共演した昨年の演奏会より。  
マリンバは、マレット(バチ)で木製の首板を打って音を奏でる楽器。片手に2、3本同時に持って演奏することも。バチの固さで音が変わる。



「プロの音楽家として、九州に住む私にしかできないこと。それは都市部だけではなく、山奥の小学校や島の施設といったところにまで音色を届けられることです。もっと九州にマリンバを広めていきたい。ファンを増やしたい。そうすることが、マリンバや音楽家を支えることにもなりますから」。

常に東京に通って最先端の音や情報を学びながら、九州でマリンバ普及に務める田代さん。今年のマリンバ・ナイトでは、安倍氏との共演はもちろん、九州で育て、演奏家として送り出した愛弟子達もステージに登る。去年とはまた違った、多彩な演奏を楽しめるコンサートになりそうだ。

9月22日(金)、世界のステージで活躍する国際的マリンビスト、安倍圭子氏とその愛弟子、田代佳代子さんのコンサートが開催される。去年に引き続き、福岡では2度目の共演だ。

「マリンバを弾くために、神様がこの世に遣わした人」。

田代さんは尊敬する師をそう表す。「先生は思いや言葉音を音にして紡ぐんです。それは技術やパフォーマンス力とは別の、天性の才能だと思います」。

数年前、父の死に塞ぎ込み、ショックとストレスで音が聞こえなくなっていた田代さんに、力と音を取り戻してくれたのは、安倍氏が「折りをテーマに作った曲だった。『折りがテーマだなんて、その時は知りませんでした。でもその曲が流れた時、涙が弾けるようにしてマリンバの音が聞こえてきました」。

言葉の代わりに音で語りかけることのできる稀有なマリンビスト。そんな先生の演奏を、もっと多くの人に聞いてもらいたい。そしてマリンバを知らない人にも、この楽器の魅力に触れてもらいたい。

田代さんの思いは、去年福岡での師弟共演という形で実現した。演奏会の終了後、ファンはもろもろマリンバが何なのかすら知らなかった人たちが「音色を聴いた瞬間、そのすこぶりに鳥肌が立った」「何度も涙が出た。この感動はいつだって何だろう?」などと、それぞれが感じた心の震えを感想として田代さんに寄せたことは、彼女にとってどんなに嬉しく、誇りだったことだろう。

9月22日(金)、世界のステージで活躍する国際的マリンビスト、安倍圭子氏とその愛弟子、田代佳代子さんのコンサートが開催される。去年に引き続き、福岡では2度目の共演だ。

「マリンバを弾くために、神様がこの世に遣わした人」。

田代さんは尊敬する師をそう表す。「先生は思いや言葉音を音にして紡ぐんです。それは技術やパフォーマンス力とは別の、天性の才能だと思います」。

数年前、父の死に塞ぎ込み、ショックとストレスで音が聞こえなくなっていた田代さんに、力と音を取り戻してくれたのは、安倍氏が「折りをテーマに作った曲だった。『折りがテーマだなんて、その時は知りませんでした。でもその曲が流れた時、涙が弾けるようにしてマリンバの音が聞こえてきました」。

言葉の代わりに音で語りかけることのできる稀有なマリンビスト。そんな先生の演奏を、もっと多くの人に聞いてもらいたい。そしてマリンバを知らない人にも、この楽器の魅力に触れてもらいたい。

田代さんの思いは、去年福岡での師弟共演という形で実現した。演奏会の終了後、ファンはもろもろマリンバが何なのかすら知らなかった人たちが「音色を聴いた瞬間、そのすこぶりに鳥肌が立った」「何度も涙が出た。この感動はいつだって何だろう?」などと、それぞれが感じた心の震えを感想として田代さんに寄せたことは、彼女にとってどんなに嬉しく、誇りだったことだろう。



**安倍圭子**  
国際的マリンビスト  
桐朋学園大学教授  
カーネギーを始めとし、名だたる世界のステージで活躍。演奏活動は40か国に及ぶ。ソリストとしてオーケストラや室内楽、打楽器合奏団やジャズ奏者との共演など、ジャンルを超えたユニークな活動が注目されている。文化庁芸術祭優秀賞6回受賞。打楽器界のノーベル賞と言われるホール・オブ・フェーム栄誉章をアジアでただ1人受賞する。



**田代佳代子**  
福岡県久留米市出身。桐朋学園大学卒業後、東京での音楽活動を経て、九州を拠点に活動するマリンバのブラス奏者。九州各地での公演やマリンバ教室を通して、その魅力と感動を伝え続ける。  
<http://marimba-music.com/>

**NEWS!**  
女性誌「STORY」9月号の「私の服にはストーリーがある」で、田代佳代子さんが大きくとりあげられている。

華麗なマリンバの音色に酔う  
**安倍 圭子のマリンバ・ナイト**  
with **田代 佳代子**

九州マリンバ合奏団2005とのアンサンブル・ステージ

**日時** 2006年9月22日(金)  
19:00開演(18:30開場)

**会場** 福岡銀行本店大ホール

**料金** チケット 4,000円 (学生3,500円)

※未就学児の入場はご遠慮願います。

■チケット取扱い/ローソンチケット(Lコード:87028) ローソン各店 電話予約 0570-084-008 <http://www2.lawsonticket.com/>  
電子チケットぴあ(Pコード:229-020) チケットぴあ及びファミリーマート各店  
電話予約 0570-02-9999 <http://t.pia.co.jp/kyushu/>

■問合せ/アヴァンティ編集部 TEL.092-724-3226 ■主催/福岡音楽文化協会・情報誌アヴァンティ  
■協賛/ヤマハ株式会社・(株)ヤマハミュージック九州福岡店 ■後援/西日本新聞社・RKB毎日放送・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会